

【主題名】相手の立場を考えて親切に 内容項目 「B-(7) 親切, 思いやり」

【教材名】くずれ落ちたダンボール箱 (東京書籍 新しい道徳5)

<あらすじ>ショッピングセンターに友人と買い物に出掛けた主人公。通路に積んであった段ボール箱を男の子が崩してしまったところに通り掛かる。落ちた段ボール箱を片付けていると、店員に崩したと勘違いされ注意を受ける。その後、お詫びと感謝の手紙が学校に届く。

【ねらい】

☑ 内容項目の理解

内容項目「親切, 思いやり」の中で, 相手の立場を考えて親切にするという道徳的価値について指導する。

☑ 児童生徒の実態把握

学校内の活動では, 相手の立場に立って考え, 行動することができる。公共の場における, 多様な人々に対するの親切や思いやりについては経験が少ない。

☑ 本時のねらいを設定する

判断力 心情 実践意欲 態度

親切のよさや難しさを理解するとともに, 学校や公共の場において, 相手の立場に立って親切にしようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

【学習指導過程】

段階	主な学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	1 本時のねらいとなる道徳的価値について問題意識を持つ。 ○ 親切な行いと聞き, どのような行いを思い浮かべますか。 2 課題をつかむ。 親切について考えよう	導入の工夫
展開	3 教材の前半を読み, 親切のよさについて確認する。 ○ 「わたし」と友子さんが落ちた段ボール箱の片付けを手伝ったことで, どのようなよいことがありましたか。 4 教材から登場人物の心情を捉える。 ○ 誰も手伝わないのに, なぜ「わたし」と友子さんは手伝ったのでしょうか。 ○ 店の人に注意を受けた「わたし」はどのような気持ちだったのでしょうか。 ◎ 「いいえ, いいんです・・・。」の後に, あなたなら, どのような言葉を入れますか。 5 教材の後半を読み, 親切という道徳的価値について理解を深める。 ○ 「わたし」の足取りがいつもより軽かったのはどのような変化があったからですか。	展開の工夫 自分との関わり 多面的・多角的
終末	6 自己の生き方について考える。 ○ 今日新しく分かったこと, 考えたこと, これからは生かしたいことを書きましょう。	終末の工夫

【板書計画】

第○回道徳
くずれ落ちたダンボール箱
○「いいえ, いいんです・・・。」

おばあさんが助かったならいいです。迷子にならなくてよかったです。

間ちがわれて, いやでした。いらいらしています。

嫌ですが, おばあさんには言えません。うまく言えません。

早く片付いてお店が助かった
私も誰かに親切にしよう

周りの人が助かる

感謝

おばあさんに喜んでくれた
男の子が迷子にならなかった

親切

自分が成長できる
あとで後悔しなくてすむ
また親切にしたい

お礼

思いやり やさしさ
相手の立場をよく考える
おばあさんへの気遣い

恥ずかしい

行動する勇気が必要
見返りを求めてしまう

【評価】

相手の立場に立って親切にするには何が大切になるか, 自我関与中心の学習を通して, 多面的・多角的に考えようとしていたか。